



近年、医療関連感染予防が重要であると言われていま  
す。特に超高齢化社会による入院患者様の高齢化と施設入所者の増加、市中  
型多剤耐性菌の増加などにより医療  
関連環境の感染リスクは高くなっています。  
季節的には、毎年、訪れるインフルエンザや  
ノロウイルス感染があります。これらの感染  
防止対策は、標準予防策に加えた飛沫感染予  
防策や接触感染予防策を着実に実践するこ  
とが必要です。

そこで、当院で感染制御できた一例をご紹  
介させていただきます。まずは、院内、特に  
病棟にウイルスを持ち込まないようにする、

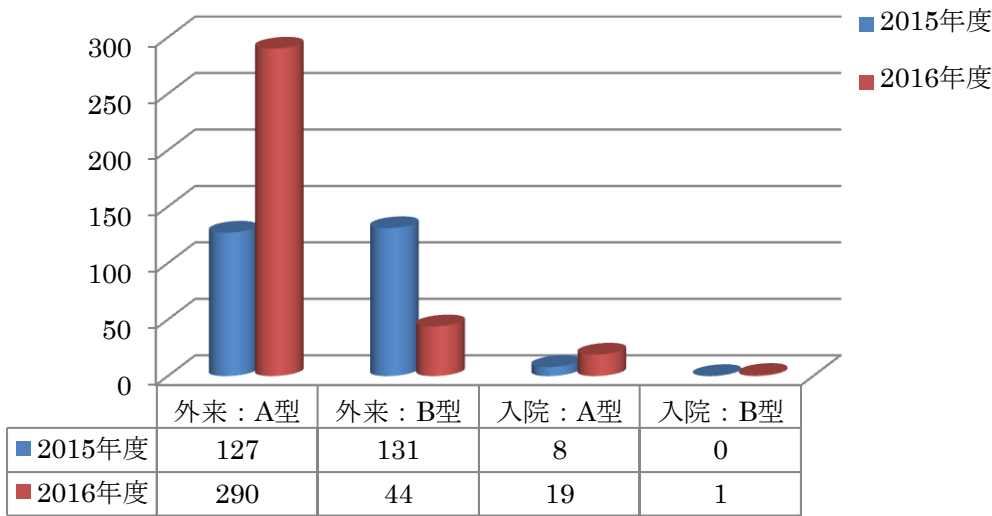
### 当院の 感染対策



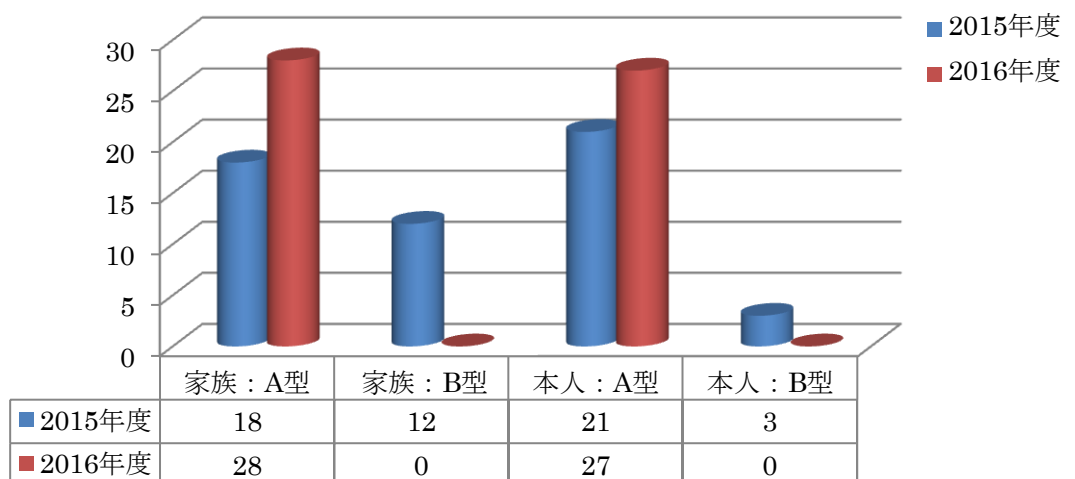
持ち込まれた場合は拡大させないことが重要  
です。それは、第一に職員が罹患しないこと、  
感染しない環境の提供と流行期に入院患者様  
の面会制限を行い、感染防止に努めるとい  
うことです。

その対策のひとつには、全国や市内の発生  
(流行)状況の情報収集をします。情報収集し  
た内容は各疾患の感染防止対策と共に、リア  
ルタイムに全職員に院内アナウンスし、疾患  
に対する意識付け、感染防止の注意喚起、手  
指衛生の周知徹底を含めた感染防止対策の協  
力依頼を行います。患者様やご家族など院内  
の来訪者には、流行状況に合わせたタイミン  
グで、エレベーター前に各疾患の感染防止対  
策のポスターと面会制限を掲示します。

●当院 2015年と2016年の患者様のインフルエンザ罹患状況 表1●  
患者様



●当院 2015年と2016年の患者様のインフルエンザ罹患状況 表2●  
職員家族と本人



インフルエンザの患者様が入院された時も、職員が罹患しない、拡大させない対応が必要です。また、職員や入院患者様がインフルエンザを発症した場合は、感染経路の原因の特定、感染拡大防止のためマニュアルに沿って速やかに予防投与できるシステムの構築と再発防止を行っています。

昨シーズンは早い地域では9月からインフルエンザが発生していましたので、ひとりでも多くの方々が簡単にマスクを購入し、咳エチケットをしていただけるためにマスクの自動販売機を増設しました。

県外ではインフルエンザ感染の情報がありましたが、市内ではインフルエンザよりノロウイルスが主に含まれたウイルス性や感染性胃腸炎などが流行していました。そのため、早い段階からノロウイルス対策である清掃内容を見直しました。トイレの清掃回数の増加、院内のあらゆる清掃や環境整備を次亜塩素酸ナトリウムで行いました。また、年末年始は、発熱や下痢・嘔吐等、有症状の患者様の待合場所を決め、救急外来用のマニュアルを作成し、交差感染防止に努めました。

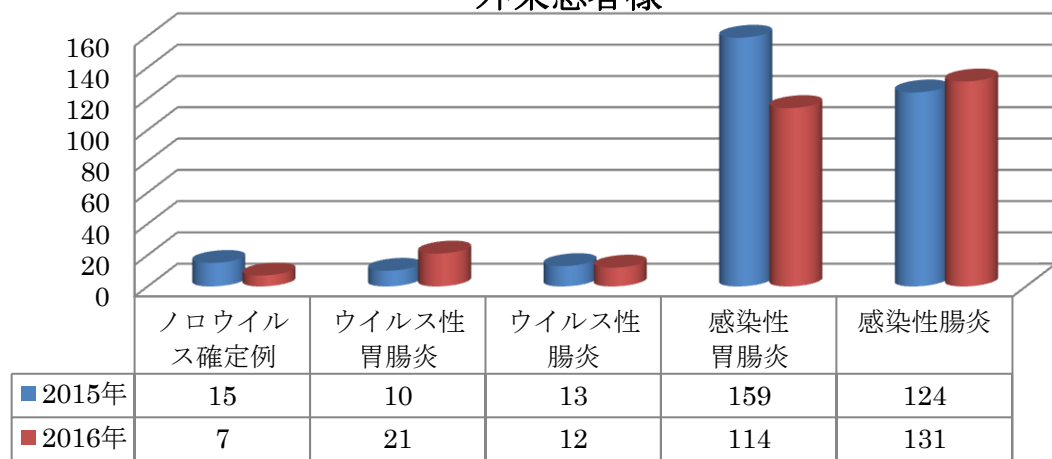
その結果、昨シーズン全国的にインフルエンザや変異したGIIを含めたノロウイルスが流行し、当院も患者様の受診がありました(罹患状況は表1～表4を参照)。当院は院内の職員が一丸となった感染対策を行ったことから、これらの院内感染はなく、乗り越えることができました。

このように医療関連環境の感染対策は、あらゆる方向から感染防止対策を行うこと、そして、それらを継続することが最も重要であると言えます。当院が昨シーズンできたインフルエンザやノロウイルス対策は、医療関連感染対策の第一歩に過ぎません。市中型多剤耐性菌の問題は深刻な課題であり、日々、着実に感染防止対策を実践する努力が必要だと考えています。

(感染管理認定看護師 田口菊久子)

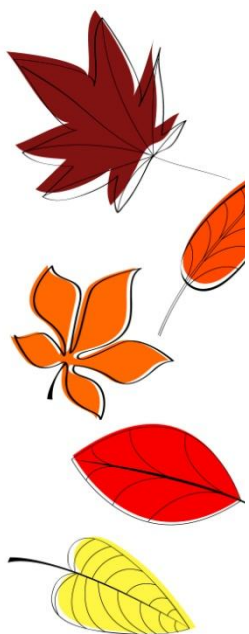
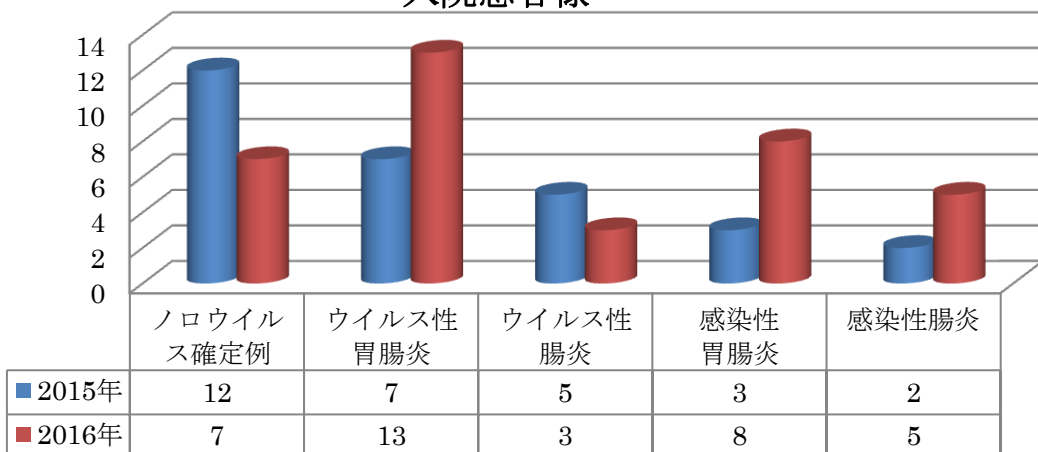
●当院 2015年と2016年の外来患者様のウイルス性・感染性胃腸炎罹患状況 表3●

外来患者様



●当院 2015年と2016年の入院患者様のウイルス性・感染性胃腸炎罹患状況 表4●

入院患者様

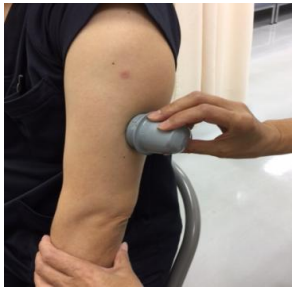




# 皮下連続式 グルコース測定

血糖コントロールの改善や、  
合併症抑制に役立つ

上腕に機器を装着します。  
装着は非常に簡単です。



装着中の痛みは、  
ほとんどありません。



糖尿病の治療目標は、糖尿病患者様の合併症出現と進行を予防して、糖尿病を持たない人と同じ健康寿命と質の高い生活を送れるようにすることです。この目標実現には、高血糖も低血糖も避ける血糖コントロールが欠かせませんが、いずれも自覚症状に乏しい状態です。高血糖と低血糖を避け、変動幅も狭めることが、合併症抑制と安全確保に求められています。

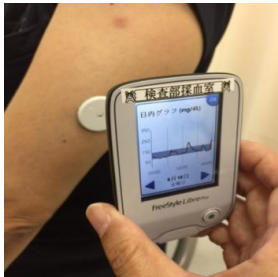
近年、持続的に間質液中の糖の値をモニターできる皮下連続式グルコース測定機器が開発されており、当院ではリブレプロ（アボット社）、Ipro（メドトロニック社）を採用しています。そこで、昨年末に保険適応となったリブレプロを紹介します。

リブレプロは、上腕に 500 円硬貨位大の機器を装着し、医療機関においてリーダーをかざすだけで 2 週間分の間質液糖濃度変化を調べる機器です。

小さな硬貨大の機器の中に情報が保存されます。

また機器返却日に、食事の内容を管理栄養士が聞き取り、解析結果と照らし合わせ、改善点を患者様とともに考えることもできます。

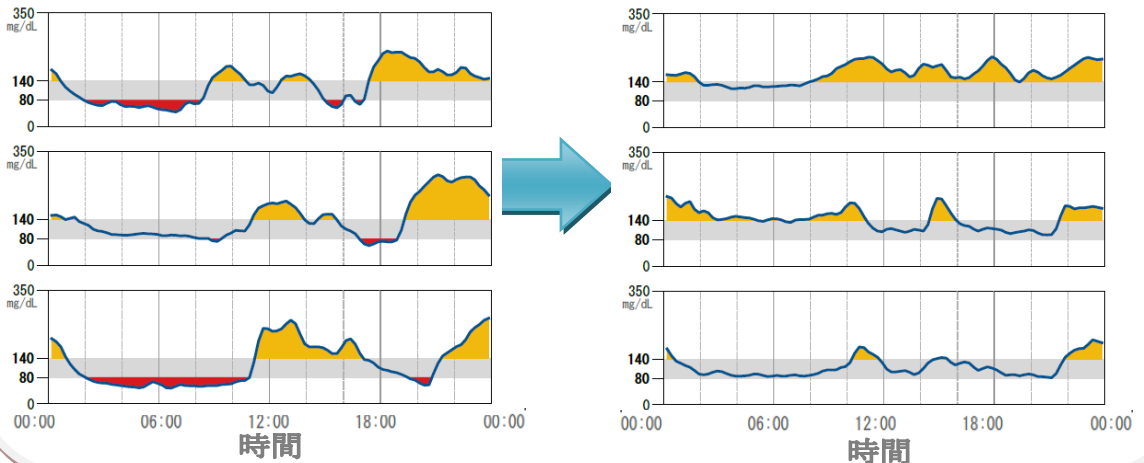
(解析結果は、後日地域医療連携室よりお送りします。)



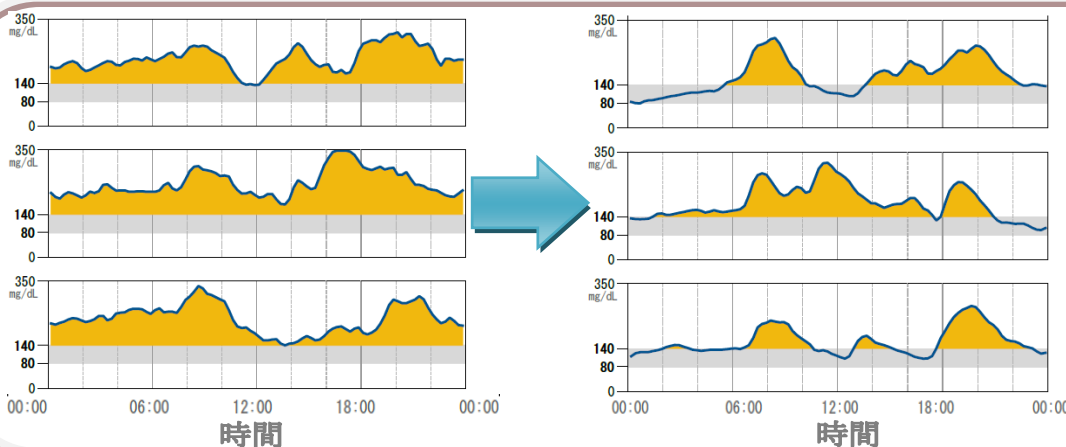
2 週間後来院し、リーダーで機器の情報を読み取ります。

皮下連続式グルコース測定により、夜間から早朝にかけての無自覚低血糖や高血糖を把握しやすくなりました。今までは、夜間の血糖を調べるには、夜中に起きて指先穿刺し血糖値を測定しなければなりませんでした。機器を装着するだけで連続した血糖変動をみることができます。

◆夜間の遷延する低血糖が把握でき（赤色部分）、SU 薬からグリニド薬に変更後、血糖コントロールが改善した例  
(赤い部分：80 mg/dl 以下、灰色部分：80～140 mg/dl、橙色部分：140 mg/dl 以上)



高血糖の部分（オレンジ色）を患者様に説明し、原因や対処法を考えることにより、血糖値改善への努力や理解を得やすくなります。



◆インスリン注射のコンプライアンス不良が判明し、指導後、血糖コントロールが改善した例  
(灰色部分：80～140 mg/dl、  
橙色部分：140 mg/dl 以上)

★ 機器装着中は、入浴可能です。



★ 機器装着中は、レントゲン・CT・MRI などの検査は受けられません。



★ 禁忌 : 6歳未満の子供、妊娠中の方、透析されている方

皮下連続式グルコース測定を実施するには、インスリンポンプを使用して糖尿病治療を行っている施設であることが必須条件です。当院は施設基準を満たしており、この検査を実施することができます。

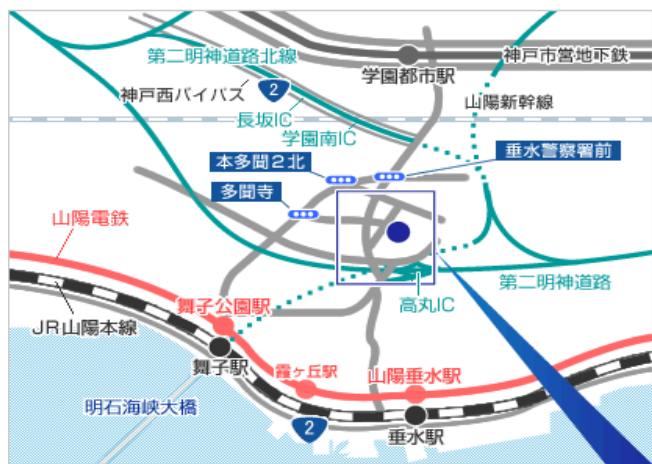
保険点数 D231-2 158	皮下連続式グルコース測定 皮下グルコース測定用電極(2)	700点 6,380円
-----------------------	---------------------------------	----------------

機器返却日に、食事の聞き取りを希望される場合  
 保険点数  
 B001-9 外来食事栄養指導料イ) 初回 260点

血糖値コントロールが困難な患者様や、夜間の血糖変動をお調べしたい患者様がおられましたら、当院地域医療連携室へお電話または別紙添付の FAX をお願い致します。予約票をお送り致します。

(臨床検査部 宮地千栄子)

地域医療連携室 (TEL)078-781-1411 (FAX)078-781-7300



【地下鉄学園都市駅から】

山陽バス・神戸市バス 約12分

【地下鉄名谷から】

山陽バス 約20分

【JR垂水駅から】

山陽バス・神戸市バス 約20分

周辺図 ▶



〒655-0004

神戸市垂水区学が丘1丁目21番1号

TEL:078-781-7811(代表)

FAX:078-781-1511

<http://www.kobe-ekisaikai.or.jp>